2019年10月16日

各 位

会 社 名　出光興産株式会社
代表者名　代表取締役社長　木藤　俊一
(コード:5019　東証第一部)
問合せ先　財務部IR室長　徳光　孝治
電話番号　03-3213-9307

スノーレ油田向け洋上風力発電導入開発計画提出のお知らせ

当社(本社:東京都千代田区、社長:木藤 俊一)の子会社である出光スノーレ石油開発株式会社※1(本社:東京都千代田区、社長:三木 順)はノルウェー現地法人出光ペトロリアムノルゲ※2(Idemitsu Petroleum Norge AS、社長:有川 浩)を通じ、権益を有するスノーレ油田※3において、浮体式洋上風力発電導入の開発計画を、このたびノルウェー政府に提出しました。今後、2022年後半の運転開始に向け、浮体式洋上風力発電設備の建設を行い、その後ノルウェー西部のグレン(Gulen)地区で組立て、洋上設置作業を行う計画です。

当開発計画は、ノルウェー西部ベルゲン市の沖合約200kmの位置に、定格8千KWの浮体式洋上風力発電設備11基(計88千KW)からなる洋上ウィンドファーム(名称: Hywind Tampen floating wind farm)を建設し、石油ガス生産設備へ直接接続するというもので、世界初の試みです。発電電力は、当社が現地法人出光ペトロリアムノルゲを通じて権益を保有するスノーレ油田(権益比率9.6%)と、近傍のガルファクス油田に供給されます。浮体式洋上風力発電設備には、実績のあるエクイノール社の Hywind(ハイウィンド)と呼ばれるコンセプトを使用し、ノルウェー政府は、開発費の一部を補助金として交付することを決定しています。

当開発計画の実現により、当該エリアの石油ガス生産設備で現在使用するガスタービン発電から生じる二酸化炭素の排出量を、当開発計画全体で年間約20万トン削減(電力の約35%が再生可能エネルギーに置換)することが可能となります。

当社は今後も、先進的な技術を積極的に取り入れ、資源事業における環境負荷低減を推進していきます。

尚、本件による当社2019年度連結業績への影響はございません。

※1 資本構成:出光興産㈱ 50.5%、大阪ｶﾞｽｻﾐｯﾄﾘｿｰｼｽﾞ㈱ 49.5%

※2 資本構成:出光スノーレ石油開発㈱ 100%

※3 スノーレ油田概要

油田名	スノーレ油田	
油田位置	ノルウェー西部のベルゲン市北西約200km、水深300-350m	
権益比率 ●オペレーター	出光ペトロリアムノルゲ (Idemitsu Petroleum Norge AS)	9.6%
	● エクイノール (Equinor Energy AS)	33.3%
	ペトロ (Petoro AS)	30.0%
	エクソンモービル (ExxonMobil Exploration and Production Norway AS)	17.4%
	ディーイーエーノルゲ (DEA Norge AS)	8.6%
	バーエナジー (Vaar Energi AS)	1.1%

以上